

No. 29
2010 Spring

山 松 舎
寺 南 臨

特集

道元禅師ものがたり

5

着いてすぐに中国禅の洗礼を受ける



明全和尚とともに、嵐の東シナ海を乗り切り、憧れの宋にたどり着いた道元禅師。明全和尚にはすぐに上陸許可がおりましたが、道元禅師には上陸許可がおりません。明禅和尚は一足先に、師の栄西が学んだ天童山に向かいます。道元禅師はその後三か月も船中に留め置かれました。なぜ、こんなことになったのでしょうか？

椎茸を買いに来た老僧

道元禅師が比叡山延暦寺で受けた菩薩戒だけでは、中国・仏教界では出家と認められず、許可がおりるのに時間

がかかったのです。

ある日の夕方のことです。道元禅師が船べりに立ってあたりの景色を楽しんでいると、船に向かって歩いてくる老僧の姿が眼に入りました。老僧は禅師に気がつく与会釈をしました。禅師は老僧を船室に招じ入れ、茶をもてなしました。

「どちらのお方ですか」
「阿育王山の典座ですじゃ」

阿育王山は、天童山と並ぶ名刹です。典座というのは、禅寺の食事を作る僧のことで、いわば炊事係です。日本産の椎茸を買いに来たのです。

炊事係は雑事ではないのか

「もう夕方ですし、一晩ここに泊まって、明日お帰りになってはどうです」
「お言葉はありがたいが、今夜中に椎茸を持ち帰らなければ、明日の食事に間に合わず、自分の役目が果たせません」
「あれほどの大寺なれば典座も多いでしょう。あなたが帰らなくても大丈夫なのでは？」

「私は西蜀の生まれで、四十年以上にわたり多くの寺で修行し、昨年ようやく典座の役をいただきました。他人に任せただけでは、自分の修行にはなりません」

「典座のお務めの大切さは良くわかりました。しかし、ご高齢でもあり、典座のお務めよりも、古人の言動に学び坐禅弁道をきわめることが大切だと思いますが」

道元禅師は、「道を究めるには、雑事にとらわれている場合ではないので

はないか」、思ったままを率直に口にしたのでした。

弁道とは何か、文字とは何か

若さゆえのやや高飛車な道元禅師の言い方にも、老僧は怒ることもなく、

「外国の人よ、見どころはありそうだが、しかし、弁道の何たるか、文字の何たるか、わかっておられないようだ」
これを聞いて、道元禅師はすぐにこの未熟さを悟りました。心のどこかで見下していた自分を恥じつつ尋ねます。

「では、弁道とは、文字とは、どのようなものでしょうか？」
「あなたがお尋ねになった、そのことが弁道であり、文字なのです」
しかし、道元禅師は、その意味を理解できませんでした。

「もし、得心いかなければ、阿育王山へおいでください。ゆっくりと語り合いましょう」
老僧は笑って帰っていきました。禅は学問ではなく、生活そのものだといっているようです。比叡山に登り、仏教学を学び、僧位を上げていく日本の

仏教。道元禅師は中国に着いてすぐに中国禅の洗礼を受けたのです。

三月二十四日は、 彼岸会施食会を修します



春分の日を中心とした一週間で「お彼岸」と呼びます。今年は、八日から二十四日までの一週間で。各地のお寺では、先祖供養が営まれます。檀信徒のみなさんは、彼岸会に参加し、家族で先祖のお墓に参り、家では団子やぼたもちを作ってお供えしましょう。

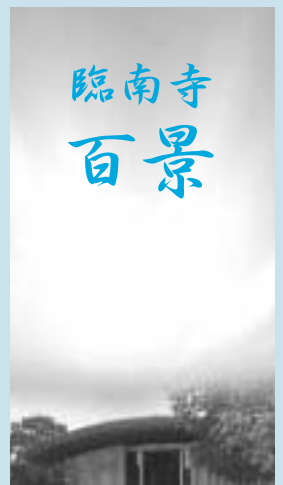
お彼岸は、平安時代から行われるようになりまし。鎌倉時代からは武士の間にも広がり、江戸時代には庶民の間にも定着していきまし。春分の日、昼と夜の時間の長さが同じになります。太陽が真西に沈みます。西方浄土を礼拝するのに、これ以上ふさわしい時期はないかもしれません。

「彼岸」は、迷いの世界であるこの世「此岸」に対して、悟りの世界であるあの世のことです。お彼岸は、もともとは悟りを開くよう

努力する期間ですが、それとともに、死んだ人をこの世(此岸)からあの世(彼岸)へ渡す追善供養の期間でもあります。臨南寺では、三月二十日・二十一日の二日間、彼岸会写経会を開き、二十四日には午後二時から彼岸会施食会を修行いたします。彼岸会施食会では、亡くなられた方の冥福を祈ってお経を上げ、先祖供養の法要を行います。当日ご都合の悪い方は、事前ご回向をお受けいたしますので、お問い合わせください。



臨南寺景 百景



樹齢百年を超える 桜の樹

臨南寺の本堂の西側に桜の樹があります。春になると白い花を枝いっぱいにつけて、春の訪れを祝ってくれます。今年の開花予想によれば、大阪の桜は三月二十五日から二十七日ごろ開くといわれています。

寒風の中で忍耐強くつぼみをふくらませ、咲いてしまえばあつという間にいさぎよく散ってしまふ。そのあたりが日本人の心に受けてか、昔から歌にも数多く詠まれてきました。

「願はくは 花の下にて春死なむ その如月の望月の頃」



これは西行法師の晩年の歌です。「如月の望月」というのは二月十五日のことでお釈迦様の命日とされています。西行は大阪南河内の弘川寺で亡くなりましたが、命日は二月十六日、願いどおりの死でした。臨南寺の桜は、手入れをお願いしている植木屋の大将の話では「樹齢百年は軽く超えるなあ」とのこと。今年も美しい花を咲かせて、私たちの眼と心を楽しませてくれることでしょう。

六地藏をお祀りします



臨南寺では、このたび、入口を入
ってすぐ、掲示板の横に地藏堂を建
立し、六地藏をお祀りすることにな
りました。お地藏さまは六体とも、
御影石で彫り出します。

お地藏さまは、正式には地藏菩薩
といいますが、「地藏」は、大地の蔵す
る力を象徴しています。その大きな
力で、地藏菩薩はあらゆる場所に身
を変えて現れます。地獄にさえもです。



地獄に落ち
た人々を救
済してくれ
るのです。
菩薩であり
ながら僧の
姿をしてい
るのはその
ためだとい
われます。

民衆の間に「地獄まで来てくれて苦
しみを代わりに引き受けてくれる」
お地藏さまへの信仰が強くなりました。
実は、地獄の支配者である閻魔大王は、
お地藏さまの仮の姿とも言われます。
お地藏さまが六道をめぐって衆生
を導くという信仰が六地藏を生みま
した。六道というのは、「地獄」「餓
鬼」「畜生」「修羅」「人間」「天上」
の六つで、人は死んだ後、生前に犯
した罪の深さによってどれか一つに
行かされます。お地藏さまは六道を
めぐって私たちを導いてくださるの
です。それが六地藏です。六地藏は、
それぞれ持ち物が違い、呼び名も違
います。

臨南寺では、六地藏を建立するに
あたり、お地藏さまの前の石碑にお
名前等を刻ませていただき、ねんごろ
に供養させていただきまます。故人や
先祖の供養のために、また生前の功
徳のために、お地藏さまの施主を
希望される方は、寺務所までお問合
せください。金額は一体二十五万円
です。

お彼岸には お写経がおすすめ

3月20日・21日



「般若心経」の二百六十二文字を写す
お写経。一文字書きたびに仏様一体を
刻むのと同じ功德があるといわれます。
あなたも、故人の冥福を祈り、先祖を
供養し、浄福を授かりませんか。随時
受け付けていますので、お気軽にお申
し付けください。

お釈迦様に 甘茶をかけて祝福を

4月8日



お釈迦様は生まれてすぐに七歩歩い
て天と地を指差し、「天上天下唯我独尊」
と言います。そのとき、神々は天上か
ら花びらを降らし、竜王は甘露の雨を
注いで祝福したそうです。花祭りはそ
の様子を再現してお釈迦様の誕生を祝い、
わが子の健やかな成長を祈ります。

マトリ合同法要に 来ませんか

5月9日



がっしょう園マトリは、お墓の継承
者がいなくても、永代にわたって供養
する永代供養墓。ご夫婦や友人同士で
の入会も増えています。合同法要は、
マトリ会員でなくても参加していただ
けます。関心のある方は、この機会に
どうぞ。

臨南寺行事予定(三〜五月)

○彼岸会写経会

三月二十日・二十一日

午前十時〜午後四時(受付は随時)

亡くなられた方やご先祖を偲びなが
ら、一文字一文字心を込めて、お写経な
さいませんか? お写経は、大本山總持
寺に納経させていただきます。
(費用千円)

○春季彼岸会施食会

三月二十四日 本堂にて

午後時〜午後三時

(受付は二時三十分まで)

亡くなられた方にお経をあげ、先祖
供養の法要を行います。ご家族そろつ
てお墓参りをし、先祖に感謝いたしま
しょう。

○釈尊降誕会(花祭り)

四月八日 午前九時〜 本堂にて

お釈迦様のご誕生を祝う法会です。
誕生仏を安置して、甘茶を注ぎま
す。ご参拝の皆様にも甘茶が振る舞われ
ます。お子様、お孫様と一緒にご参
りください。

○マトリ合同法要

五月九日 午後時

本堂でお話を聞いた後、マトリで亡く
なられた方の冥福を祈ります。しず
かなお気持ちで二日を過ごしましょう。



七十年前、臨南寺は山だった

その1

私は昭和十二年に生まれました。数えて七十歳です。小学校三年のときに終戦を迎えました。二年のときに泉北に疎開しました。それでも艦



山本 渉さん

載機に狙われました。小学校まで二里ぐらい歩かなあかん。土手の上を三十人ぐらい並んで歩いていたら、突然雲の中から戦闘機が落ちてきた。バリバリと撃つてきました。

先導していた先生が叫びました。「みんな下に降りて伏せろ」。そして、手に持っていた白いシャツを土手の上に放り投げました。後で見るとシャツは撃たれて真っ黒になっていました。危機一髪でした。

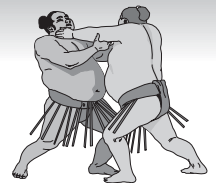
そのくせ、長居村には焼夷弾ひとつ落ちなかった。長居の村を出たところに変電所がある。そこには二トン爆弾が三つも落ちたのです。「長居のお宮さんは上から落ちてくるも

んが嫌いやから」そう年寄りと言っていました。

私が子どもの頃、臨南寺は「山」と呼ばれていました。うちの山本という姓も、臨南寺のそばにあったから付けられたんです。寺を囲む森がすごかった。昼間でも真っ暗で入るのが怖いぐらいでした。今の山門を入って真正面のところは御神木の大きな椎の木がありました。椎の木はまだ元気な頃で、よく登って椎の実を落としては叱られました。

昔の本堂はかやぶきで、その上をトタンで覆っていました。建て替えるとき屋根をつぶしたら、何百匹と蛇が出てきたのを覚えています。

境内に相撲部屋が来ています



年に二度、恒例の大阪春場所が三月十四日から二十八日まで大阪府立体育館で行われます。臨南寺には、昭和四十六年から鏡山部屋が来ています。鏡山部屋は、元横綱の柏戸さんが創設しましたが、平成八年その親方が急死。元関脇の多賀竜さんが鏡山を襲名し、部屋を継承しました。

鏡山部屋には二人の力士がいます。鏡桜かがみはなはモングル出身で、現在、十両の下の幕下です。親方の長男の竜聖は、序二段です。二人とも、関取を目指してがんばっています。境内でお相撲さんを見かけたら、応援の声をかけてあげてください。

墓苑をご利用の皆様へお願い



- 手桶を花立て代わりに使わないでください。ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。境内では最徐行をお願いいたします。駐車中の事故等は一切責任を負いかねます。
- ペットを墓苑内に連れて行かないでください。
- トイレにオムツを流さないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。

お気軽にご参加ください

早朝坐禅会

毎月第一土曜日
午前六時半〜 本堂にて
*一月・七月・八月は、お休みさせていただきます。

写経会

毎月二十日 午前十時〜午後四時
写経料・千円

『正法眼蔵随聞記』読書会

毎月第二土曜日 午後三時〜
*一月・八月は、お休みさせていただきます。
*いずれも事前のお申し込みが必要です。

編集後記

今年も大相撲の大阪場所がやってきます。臨南寺にも鏡山部屋のお相撲さんがきています。朝青龍問題や理事選挙など、土俵の外での話題にはこと欠きませんが、やっぱり土俵上の勝負をもっと真剣に盛り上げてほしいものです。記事についてのご感想をお寄せください。(M)

「ほ〜っと」29号

平成22年3月

編集・発行：稜伽林「ほ〜っと」
編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-711-493

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com